

若松キャベツの植え付けがはじまりましたよお。



若松区では8月下旬からキャベツの植え付けが始まりました。



写真1

植えられたばかりのキャベツ苗はちょっと頼りなさげですが、これから若松の大地の上で太陽の光と水と栄養分を吸って、どんどん大きくなっていきます。

若松の東部(頓田、小竹、安屋の一部地区)では、昔ながらの「地苗」が主流です。ハウスの中に苗床を作り本葉が4~5枚出た頃に畑に植付けます。〔写真1〕

植付は面倒ですが、苗が大きいので干ばつや台風に強いというメリットがあります。

対して若松の西部地区(安屋から有毛地区)では機械移植に適した「セル苗」が主流です。こちらはセルトレーと呼ばれる小さな箱の中で本葉2~3枚になるまで育て、機械で畑に植付けます。〔写真2,3〕



写真2



写真3

機械での植え付けは省力的ですが、苗が小さいので植え付け後の水管理が大変です。

どちらの方法も一長一短があるので、キャベツ農家は「地苗」、「セル苗」の特性を考えながら、畑の土質や灌水施設の状況にあった方法を選んで栽培しています。

あやさと あやかぜ

現在植付中の品種は「彩里」「彩風」が中心です。順調に行けば「彩里」は11月上旬から、「彩風」は11月下旬からの収穫予定です。

若松『野菜』情報

全体的に…

- ・ 最近の晴天続きでキャベツ・ブロッコリーの植え付けは順調です。
- ・ しかし、雨が降らないと生育に大きな影響が出ます。このまま少雨が続けば、11月頃のキャベツ・ブロッコリーは小玉傾向になることが予想されます。

キャベツ

- ・ 9月に入って若松の主力品種「夢舞台」の植え付けが始まります。
- ・ 「夢舞台」は濃緑色で甲高扁平な形をしています。葉は水分が多くて柔らかく、低温期には糖度が上がります。いかにも若松キャベツらしい特徴を備えた品種です。出荷は12月下旬からの予定です。

ブロッコリー

- ・ 極早生の新品種 KB052 が生育中です。10月10日頃から出荷が始まる予定です。花蕾は淡緑色ですがドーム型で正円形の綺麗な形になります。
- ・ 少雨傾向だと、生育の遅れと害虫の発生が懸念されます。

ダイコン

- ・ 9月中旬播種開始、12月初旬から出荷開始の予定です。